



夏の思い出

尾鷲市立図書館協議会委員 三日尻 果林

夢であった中学校の先生になって、早5ヶ月が過ぎました。現実は思っていたよりも厳しく、打ちひしがれそうになることもあります。充実した日々を過ごしています。

この夏休みに、宿題として読書感想文を出しました。読んでみると、指定された文字数を頑張って書こうとした形跡のあるものから、本の内容から学んだことをしっかり書き留めているものまで、さまざまな読書感想文があり、さまざまな生徒の考えに触れることができてワクワクしました。

生徒の読書感想文を読んでいるとき、ふと自分が中学生のころを思い出しました。今でこそこのような仕事に就いている私ですが、作文がとても苦手です。この図書館エッセイも悩みながら書いているところです…（笑）

中学生のころは、夏休みの宿題に読書感想文が出るのが本当に嫌で、よく不平不満を述べていました。読書感想文が苦手なのは今の中学生と変わらないです。読書は好きなので苦痛ではなかったのですが、やはり作文は書きたくありません。それでも、宿題はしないとイケないので、どうにか指定された文字数をこえようと夏休み最終日に必死で書いたのを今でも鮮明に覚えています。

文章を書くのは苦手なので、この文章も読みにくいと感じている方も多いと思います。ただ、読書は本当に好きで、子どものころからずっと本を読んできました。今は忙しさにかまけて読めていませんが、もう少し仕事に慣れてきたら読書活動を再開したいと思っています。

読書はさまざまな考えに触れることができる素敵なものです。とは言いつつ、私は偏った種類の本しか読まないで、さまざまな種類の本を読んでいきたいと思っています。生まれ育った環境が自分を構成する大部分であるとは思いますが、今まで読んだ本というのも自分を構成する大きな要素になるのではないかと私は考えます。素敵な本に出会って、素敵な自分になれるよう、これからもたくさん読書していきたいなと思いますし、みなさんにもたくさんの素敵な本に出会っていただきたいと思います。

その際には、尾鷲市立図書館に足を運んでいただいて、気になるタイトルの本を借りて、好きだなと感じたら手元に残るようにしていただけたら、と思います。このような拙い文章でしたが、なにかみなさんの心に残ることを願って、お仕舞いにします。ありがとうございました。

図書館行事報告

☆いきいき尾鷲っ子「夏休み手作り絵本教室」

7月30日（金）に行われた「夏休み手作り絵本教室」は講師に大形弥生さんを迎え、19人の小学生が参加してくれました。お弁当持参で1日かけて世界に1冊の絵本を作ります。みんな一生懸命におはなしを考え、絵を描いていました。出来上がった作品は、来年3月のいきいき尾鷲っ子活動報告にて展示予定です。楽しみにしててくださいね。



2021 10 October						
月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2021 11 November						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2021 12 December						
月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

おはなし会の予定

★おはなしだっこ【赤ちゃん対象】

第1木曜 1歳児以上 10:00~

0歳児 10:45~

※10月はコロナ感染対策により中止

★おはなしの時間【幼児対象】

第1・3土曜日 11:00~

★おはなしの広場【幼児~小学生】

第2・4土曜日 11:00~

尾鷲市立図書館（〒519-3616 三重県尾鷲市中村町 10-41）

開館時間 火~金 9:30~19:00 / 土日祝 9:30~17:00

休館日 月曜日・月末 ※月曜日が祝日の場合は翌日休館

年末年始・蔵書点検期間 月末が土日の場合は直前の金曜日休館

電話番号 0597-23-8282 FAX 0597-23-8283

図書館 HP <https://ilisod003.apsel.jp/owase-library/>



図書館だより 2021年秋号

つみくさ



やっぱり食欲の秋！

読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋と秋は何をやるにもいい季節ではありますが、やっぱり「食欲の秋」に心惹かれます。

今月号は、「食欲の秋」を取り上げ、最近大人気のお料理小説をはじめ、話題のレシピ本、ダイエット料理、おいしそうな絵本など料理に関する本を紹介します。

新着より



『とにもかくにもごはん』 （小野 史宜／著 講談社）

午後5時開店、午後8時閉店。松井波子が開いた「クロード子ども食堂」。お客さんは、デートに向かうおかあさんに置いていかれる小学生や、娘と絶縁し孤独に暮らすおじいさん…。現代社会の生きづらさと希望を描く群像劇。



『白飯サラダ』 （今井 亮／著主婦と生活社）

温玉とろろしらすサラダ、豚肉のしょうが焼きサラダ、サーモンの刺身サラダ…。ひと皿のなかに食べ応えのあるおかずと野菜が入った、ごはんがすすむサラダを紹介。8品の麺サラダも収録する。



《目次》

・図書館利用者さんの「これ読んでみいー！」

・3ヶ月ランキング
・図書館エッセイ…三日尻果林さん
・図書館行事報告／カレンダー



図書館利用者さんの

これ読んでみいまー!



『悪の教典』 上・下巻 (貴志 祐介//著、文藝春秋)

高校教師の蓮実はルックスの良さと爽やかな弁舌で生徒の人気を集める。だが彼は邪魔者を躊躇なく排除する共感性欠如の殺人鬼だった…。

読書は、教科書に載るような良い物語、為になる物語でなければならないと、潜在的かつ固定的、あるいは無意識に思い込んでいた自分の先入観を一気に解放してくれた一冊。一気読みしてしまい、上・下巻、一緒に借りなかったことを後悔…。

積読くん (50代・男性)

『Box!』 (百田 尚樹//著、太田出版)



運動神経抜群の鎬矢義平が、勉強は得意で運動は苦手な木樽優紀を誘って、ボクシング部に入部する物語。負け知らずで天才VS負けず嫌いの努力家、親友の二人が高校生活をささげて無敗の王者を倒すことを目標にボクシングに向き合っていく。真逆の性格の二人の視点で、物語が進んでいき、それぞれの挫折や達成感、一生懸命さを感じられるスポーツ青春小説です!

20代 (男性)

3ヶ月ランキング

2021年7月~9月です(単行本)

1位



『52 ヘルツのクジラたち』 (町田 そのこ//著・中央公論新社)

自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれた少年。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会う時、新たな魂の物語が生まれる-。令和2年本屋大賞の作品です

2位『わるい慈剣帖』5巻・6巻

(風野 真知雄//著・双葉社)

3位『白鳥とコウモリ』

(東野 圭吾//著・幻冬舎)



絵本1位
『あなたのすてきなところはね』
玉置 永吉//作
KADOKAWA

ダイエット&健康食



『やせる高たんぱくレシピ100』 (工藤 孝文//医学監修 学研プラス)

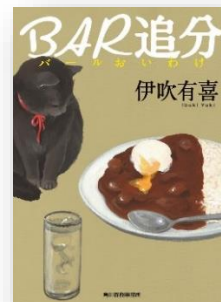
おいしく食べてキレイにやせる! 鶏肉、赤身肉、魚介、卵・大豆製品を使った、高たんぱくレシピ100を紹介する。効率よくやせるための高たんぱく食のとり方や、ダイエットをサポートする野菜レシピも掲載。



『食べて脂肪が燃える魔法のレシピ』 (加藤 超也//著幻冬舎)

体質を根本から改善し、筋力アップ、痩せる、若返る! 主菜・副菜から麺料理、スープ、デザートまで、アスリートのために考案されたファットアダプト食事法を活用した、食べても食べても脂肪が燃える絶品81レシピを紹介。レシピはサッカー選手長友佑都専属シェフ考案。

郷土ゆかいの本



『BAR 追分』 (伊吹 有喜//著 角川春樹事務所)

路地の奥にたたずむ BAR 追分。昼は「パール追分」でコーヒーや定食を、夜は「バー追分」で本格的なカクテルや魅惑的なおつまみを。人生の分岐点で、人々が立ち止まる場所「BAR 追分」、いよいよオープン。尾鷲出身の伊吹さんの心温まる物語。



『南紀の台所』 (©元町夏央/集英社)

蘭は便利な都会で何の不自由なく生きてきた。そんな折、彼氏の巴が転勤に。これを機に結婚し移住先は紀伊半島に位置する小さな小さな港町。しかしそこは雄大な大自然に囲まれた極上食材の宝庫だった!!これぞ究極の美味、“いなかゴハン”をお腹いっぱいご賞味あれ!! 現在電子書籍のみの流通になってます

おいしいそうな絵本



『きょうのごはん』 (加藤 休ミ//作 偕成社)

夕方になると、どの家からもいいにおいがしてくるよ。こっちのおうちのご飯は何か? あっちのおうちのご飯は何か? カレーライス、コロッケ、お寿司…。おいしいようなごはんが次々出てくる絵本。驚きのクレヨン画です。



『おじいちゃんとパン』 (たな/え ぶん パインターナショナル)

ジャム、あんこ、マシュマロ、砂糖…。おじいちゃんは食パンに甘いものを塗って食べています。その甘いパンを楽しみにしているのが、まごの「ちびすけ」。ちびすけの成長を、食パンレシピと共につづります。ラストには温かな感動が味わえます。

人気時代小説



『お勝手のあん』 (柴田よしき//著 角川春樹事務所)

品川宿の老舗宿屋「紅屋」を営む吉次郎が、その類いまれな嗅覚の才に気づき、お勝手女中見習いとなったおやす。ひとつひとつの素材や料理に心を込め、おやすは一生懸命成長していく-。



『きよのお江戸料理日記』 (秋川 滝美//著アルファポリス)

逢坂から江戸にやってきた訳あり姉弟のきよと清五郎。父の知人が営む料理屋「千川」で、清五郎は配膳係として、きよは下働きとして働くことになった。だが、ひょんなことからきよが作った料理が店で出されることになり…。



『浅草料理捕物帖』 (小杉健治//著 角川春樹事務所)

浅草で評判の一膳飯屋「樽屋」の板前・孝助のもとに、悪評高い岡っ引きの文蔵がやって来た。店に毎晩来る浪人・越野十郎太が、連続辻強盗ではないかと目星をつけたからだ。文蔵の手下になりたい孝助は、十郎太を見張るが…。

ほっこり小説



『食堂のおばちゃん』 (山口恵以子//著 角川春樹事務所)

夫婦のすれ違い、跡とり問題、仕事の悩み…。人生いろいろ大変なこともあるけれど、財布に優しい「はじめ食堂」で、美味しい料理を頂けば、明日の元気がわいてくる! 料理のレシピも掲載。シリーズ4巻あります



『ランチ酒』 (原田ひ香//著 祥伝社)

バツイチ、アラサー、愛する娘は別れた夫のもとに…。泣きたいときもあるけれど、夜勤明けの疲れを吹き飛ばすのは、街で出会ったおいしい料理とうまい酒。心を癒し、胃袋を刺激する絶品小説。シリーズ3巻



『マカンマラン』 (古内一絵//著 中央公論新社)

元エリートサラリーマンにして、今はド派手なドラッグクイーンのシャールが、深夜にしか営業しない不思議なお店。そこで提供される料理には、優しさが溶け込んでいて…。じんわりほっくり、心があたたかくなる4作品を収録。シリーズ4巻

その他にも



『のほほん御膳』 (yasuyo//著 誠文堂新光社)

季節の食材と向き合ったり、じっくり器を選んだり、楽しみながら盛りつけたり…。ナチュラルフードコーディネーターが、ササッと作れて、華やかでおいしい“のほほん御膳”を紹介。ちょっと真似したくなります。



『アートな朝ごはん』 (valo//著 すばる舎)

今すぐ回りだしそうなメリーゴーランド風フレンチトースト、宝石のように果実が浮かぶフルーツプリン…。身近なもので簡単に作れる、アートな朝ごはんのレシピ114品を紹介。見るだけで楽しくなる本。



『父ちゃんの料理教室』 (辻 仁成//著 大和書房)

あのね、料理は特別なことじゃないんだよ。まずはキッチンに立ってごらん-。シングルファザーとして毎日食事を作り続けてきた作家・辻仁成が、17歳の息子に料理と人生のことを伝える。